



マレーシア
コンサル
HSS社と覚書
ASEAN中心に業務協力
オリコンサル
グローバル

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、マレーシアで業界トップの規模と実績を持つ建設コンサルタンツ会社のHSS Engineer社と業務協力に向けた覚書を交わした。両社を互いの「優先パートナー」と位置付け、それぞれの専門知識や経験を補完し合いながら、ASEAN（東南アジア諸国連合）

地域を中心にインフラ事業で協力することに合意した。HSS社は、80年近い歴史を持つ同国トップのコンサル会社で従業員は850人。クアラルンプールMRT1号線と2号線、クアラルンプール国際空港建設などの実績がある。オリコンサルグローバルとは同国の鉄道事業で共同提

案やエンジニアの派遣などを行っている。

19日に東京都新宿区のオリコンサルグローバル本社で開いた覚書調印式では、同社の米澤栄二社長とHSS社のタム・スリ・アクナ・シッタンのパラム会長が覚書を取り交わした。写真。